

### ①SDGs未来都市としての取組

- ▶市民（特に次世代を担う子どもたち）や外から関わってくれる人に、“さすが南砺市”と誇りに思ってもらえるよう、南砺市らしいSDGs未来都市としての取組を見える化してアピールすること。
- ▶新しいことばかりをやるのではなく、既存の事業を成長させて市内外にPRするべき。
- ▶行政担当課の事業についてしっかりSDGsの意識を持ってもらう

### ②情報発信

- ▶既存のイベントなど人が集まる事業と連携することで、関心のない方も含めて多くの方に情報を届けられ、繋がることできる。
- ▶子どもたちが体験できる場を提供する（例えば、ペレットストーブや薪ストーブを学校に配置する）ことで、親世代にも情報が広がっていく。

### ③なんとSDGsパートナー

- ▶パートナーの取組を広げていくためには、登録企業・団体自身が具体的に取り組んでいることを積極的にPRしていくことが大事。行政は取組をPRするための支援やパートナーがやる気になっていただけるような呼びかけ、さらに、実践する企業・団体を育成するための種まきをするべき。
- ▶地域を良くするためには、パートナーにはボランティアではなく自社・自団体の事業として地域に参画することが大事。

### ④SDGs普及啓発

- ▶地元金融機関と連携して、学生等を対象としたSDGsワークショップ、勉強会を開催してみてもどうか。

### ⑤農業

- ▶農業従事者の減少が大きな課題であるが、地域や社会が新規就農者を支援することが大事。

### ⑥外国人住民

- ▶外国人住民と地域との繋がりをつくるために、市内の外国人の方が集まる機会（例えば、なんと異文化交流フェスティバル）に地域づくり協議会の方にも参加してもらえるとよい。
- ▶災害があった際に企業や地域が外国人の方に手を差し伸べられているかが心配。日本人も外国人も一緒に訓練を行う機会をつくることで、備えは誰にでも必要だという認識とお互い助け合うことに繋がっていく。
- ▶外国人住民の方に地域での役割を持ってもらうことで、守られる側ではなく守る側として頼れる方たちになる。

### ⑦地域の居場所づくり

- ▶子ども食堂をはじめとした無料もしくは安く食事ができるイベントは、いろんな人が集えて地域での繋がりができる場になるので、頻繁に開催されてほしい。

### ⑧副業

- ▶地域で人手が足りていない状況を改善するためにも、副業制度を推進するべき。